

低侵襲心臓手術の有用性に関する検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

低侵襲心臓手術(MICS)は小切開の肋間開胸で行われるため、胸骨正中切開による標準的な術式に比べて手術侵襲が小さいです。MICSの利点として、輸血量の削減、胸骨感染や縦隔炎の回避、術後の早期回復が挙げられます。欠点としては、作業空間が狭いため手技の難度が高く、手術時間や人工心肺時間が長くなる点が挙げられます。上行大動脈や大静脈への直接的アプローチが制限されるため、末梢血管からカニューレを挿入し体外循環を確立しますが、大腿動脈からの逆行性送血による合併症として大動脈解離、脳虚血、下肢血行障害が起こり得ます。ほかにも、MICSに特徴的な合併症として、再膨張性肺水腫、血管合併症、心臓ヘルニアなどが起こり得ます。

限られた視野でのMICSを安全に行うためには、合併症の予防や早期発見に努めることが肝要です。この研究は、MICSにおいて生じた合併症を抽出しMICSの有用性を検討することを目的としています。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2018年1月～2024年9月に当院でMICSを行った症例

使用する試料・情報

患者さんの基本情報(年齢、性別、身長、体重)、術前の画像診断と心機能(左室駆出率、左室拡張末期容量)、術中使用薬の種類と量、体外循環の手法、術式、合併症を起こした時期
情報の使用開始予定日：2024年10月29日

研究予定期間

2024年10月29日～2026年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 麻酔科 隈元泰輔
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 麻酔科 隈元泰輔

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)